

昭和59年度

高所運転室付ロータリ除雪車

(パンタグラフ昇降式)



建設省北陸地方建設局

開発の目的

ロータリ除雪車による高雪堤地域の除雪作業に適応するため、高雪堤部の視界確保と投雪時の視認性・安全性の向上を目的とした高所運転室の開発を行ったものである。

特徴

1. パンタグラフによる高所運転室の昇降がレバー操作（電磁油圧式）で簡単に行える。
2. 視界性が良く、視点高さは作業状態位置で4.2m（本体運転室は3.0m）で高雪堤部の視認が可能である。
3. 障害物検知器により高所運転室前方に現われる障害物を検知し、高所作業中での危険回避が行える。
4. 通話装置（同時通話方式）による本体運転室と高所運転室との作業連絡ができ、走行と作業の連携が正確に行える。
5. 高所運転室の操作レバーと本体運転室の操作レバーを連動させ、誤動作を防ぐ構造である。
6. 1本のレバーによりシュート制御（旋回、キャップ開閉用）が行える。
7. 架台上昇高さが4,930mmで、除雪作業以外高所作業台として使用できる。

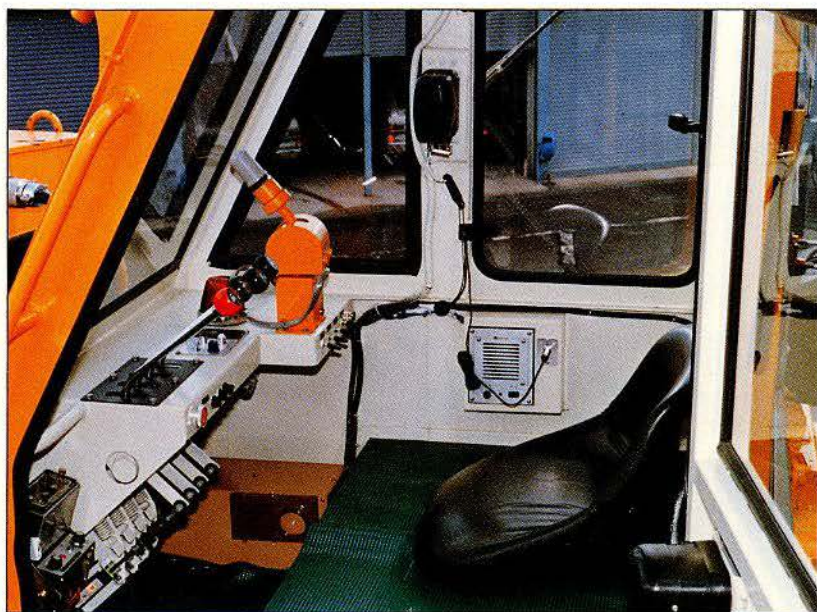


格納姿勢



作業姿勢

高所運転室による
高雪堤部除雪作業



高所運転室内
シュート操作用1本レバー

高所運転室の
最高上昇状態



◆高所運転室仕様概要

運 転 室	形 式	鋼製密閉形左1ドア式	
	寸 法	全 長	1,050mm
		全 幅 全 高	900mm 1,200mm
重 量	770kg		
昇 降 装 置	形 式	パンタグラフ油圧昇降式	
	昇 降 高 さ	格 納 時	3,800mm
		上 昇 時	4,500mm
架台上昇高さ(高所作業台)		4,930mm	
操 作 装 置	形 式	電磁油圧式(8連切換弁)	
	レバ ー 類	マニュアル式	シュート旋回用、シュート伸縮用 キャップ開閉用、キャブ昇降用
		1本レバー式	シュート旋回、キャップ開閉用(スイッチ切換式)
		非常用エンジン停止ボタン、前面熱線ガラススイッチ	
付 属 装 置	通話装置、前方障害物検知器、灯油式ヒーター		

◆全 体 図

